

神奈川県立 精神医療センターだより

芹香病院／せりがや病院



新しい精神医療センターについて



神奈川県立精神医療センター所長兼芹香病院長 岩間 久行

このたび4月1日付で神奈川県立精神医療センター所長を拝命いたしました。また、芹香病院院長も兼務となりました。よろしくお願いいたします。

神奈川県立精神医療センターは芹香病院とせりがや病院を持ちますが、この2病院を総合的に運営することを目的として平成2年に設置されました。その後、精神医療が大きく変化して行く中で、芹香病院は精神科救急医療を中心とした病院機能へと変革を遂げてきました。近年精神科医療の在り方が縷々議論されてきましたが、神奈川県においても、精神医療センターの機能をより一層分化させ発展させていくために、平成21年7月に神奈川県立精神医療センター総合整備検討委員会を設置し、5回にわたる検討を経て総合整備基本計画が策定されました。この中で芹香・せりがや両病院の統合、芹香病院の建物老朽化への対応等が求められ、現在、総合整備を具体的に進めております。

この総合整備は大きく2期に分けて進めておりますが、第1期に予定していた医療観察法の入院医療を司る医療観察法病棟（33床）は既に完成し、平成24年11月に開棟することができました。現在この分野での医療提供を追求している状況です。また、第2期の新棟工事も既に着工し、現在基礎となる部分の工事を進めております。第2期の工事では芹香病院とせりがや病院を統合し様々な精神科専門医療の提供が行える病院を建設することになっています。完成しますと免震構造を持った地上5階建、9病棟（全323床）構成で精神医療を全般にわたって提供できる病院に生まれ変わることができます。完成および開棟は平成26年12月を予定しているところです。

新たな精神医療センターでは、精神科救急医療を中心としながらも専門的な医療の提供が行えるよう部門を整備します。これまでと同様にアルコールや薬物依存への対応、難治なうつ病への対応、精神病で複雑・困難な例への対応、司法精神医療の提供の他、新たに思春期の精神疾患への対応を予定しています。思春期に発症しやすい精神病を早期に発見し早期に治療を施すことは、病気の重症化を避けその後の成長や社会適応を維持する上で大変重要です。また、近年注目されている発達障害圏から精神病への発症も多く、こうした例への適切な対応が求められています。

現代的な精神科医療は地域生活を中心とし、患者中心の多職種によるチーム医療の提供を主眼としています。新精神医療センターにおいてもこうした医療提供を推し進めていけるよう、昨年度から治療体制の再構築を始めているところです。まず、地域を含め県民の方々に開かれたセンターづくりを行わなければなりません。そのためには

地域の関連諸機関との密な連携も大切ですが、何よりも当事者の方々に開かれ利用しやすいセンターづくりが最も重要であると考えています。このために精神医療センターの活動内容を広く知っていただくための見学会やセミナーの開催を予定しています。また、地域生活を中心に見据えた医療提供のためには、安定した病状を維持し再発を予防できる外来診療と必要な場合は、最小限の期間での入院治療の提供が求められます。外来診療には訪問看護や訪問診療の他、地域資源との密な連携など医療・福祉の協力的な組み立てが求められます。

以上のように、これからの精神医療を担っていける新たな精神医療センターを目指し鋭意努力していく所存です。これまでと同様にご指導ご協力いただき、精神医療センターを可愛がっていただけますようお願いいたします。

新任職員の紹介

本年4月に、精神医療センターに配属された医療スタッフを紹介します。センターの基本理念を踏まえ、皆様に信頼される心あたたかい医療を提供するよう努力しますので、よろしくお願いいたします。

芹 香 病 院



磯崎 仁太郎
磯崎 医師



吉田 晴久
吉田 医師



黒田 美智子
黒田 副看護局長



井口 真理子
井口 科長



白石 礼子
白石 科長

職名等	氏名	職名等	氏名	職名等	氏名
医 長	磯 崎 仁太郎	主任看護師	齊 藤 奈津紀	看 護 師	長 山 瑠 里
医 師	吉 田 晴 久	看 護 師	野 村 亨	//	中 島 三 貴
福祉職(相談)	石 塚 貴 浩	//	天 池 莉 穂	//	阿 部 優 香
副看護局長	黒 田 美 智子	//	岸 野 誠	//	和 田 展 幸
看護科長	井 口 真 理子	//	鈴 木 聖 子	//	松 本 怜 奈
//	白 石 礼 子	//	伊 藤 陽 英	//	野 崎 香 介
主任看護師	福 田 里 美	//	伊 崎 万 里那		

せ り が や 病 院



小林 桜児
小林 医師



辻村 理司
辻村 医師



高橋 富子
高橋 科長

職名等	氏名	職名等	氏名
医 長	小 林 桜 児	看護科長	高 橋 富 子
医 師	辻 村 理 司	看 護 師	滝 澤 伸 子
管理栄養士	木 場 美 紀		



神奈川県立精神医療センター 総合整備に取り組んでいます

平成26年12月1日
に全面開棟します！



○精神医療センター総合整備について

精神医療センターでは、県立の精神科専門医療機関として、医療観察法医療や思春期医療など新たな精神医療に積極的に取り組むとともに、施設の老朽化・耐震上の課題を解消し、よりよい療養環境を実現するため、平成21年度に総合整備計画を策定し、芹香病院とせりがや病院を統合した新たな病院の整備に取り組んできました。

平成24年11月には医療観察法医療の専門病棟を開棟し、平成26年秋には、いよいよ新棟が完成し、12月1日から新病院での診療の開始を予定しています。

新たな精神医療センターでは、主に次のような医療に取り組んでまいります。

【専門入院医療の提供】

次の専門的治療を提供し、早期退院や社会復帰を目指します。

- 思春期医療や医療観察法医療などの新たな機能

多感な思春期は精神障害を多発する時期であり、思春期を対象とした精神科医療を新たに提供します。また、医療観察法に基づく、医療観察法病棟を平成24年11月に開棟しました。

- ストレスケア医療や依存症医療などの専門医療の提供

現代はストレス社会であり、うつ病やアルコール・薬物依存症が増えており、これは自殺とも関連しています。このため、うつ病を中心としたストレスケア病棟や、アルコール・薬物などの依存症に対し、専門医療を提供します。

【外来医療の充実】

- ストレスケア医療や依存症医療など専門外来を充実します。
また、「入院医療から生活中心へ」という精神科医療の流れの中で、患者さんの地域生活支援を行ってまいります。

【臨床研究の活性化と人材育成】

- 高度な専門医療を提供するために臨床研究を推進するとともに、県内の精神科中核病院として医療人材の育成を行ってまいります。

	病棟名	病床数
2階	医療介護病棟	35
	依存症病棟	45
3階	回復期リハビリ病棟	40
	ストレスケア病棟	30
4階	総合治療病棟	40
	思春期病棟	30
5階	救急病棟A	30
	救急病棟B	40
別棟	医療観察法病棟	33
	合計	323

新病院の建設風景

(平成25年5月13日撮影)



医療観察法病棟

(平成24年11月開棟)



看護師募集

当センター(芹香病院又はせりがや病院)では、看護師を募集しています。採用試験は次のとおりです。

試験日程	平成25年6月15日(土)	平成25年7月20日(土)	平成25年8月17日(土)
試験会場	神奈川県立精神医療センター(採用は平成26年4月1日となります。)		

※募集締切：各日1週間前までに申し込み。詳しくは事務局総務課までお問い合わせください。

神奈川県立精神医療センター 〒233-0006 横浜市港南区芹が谷2-5-1
TEL 045-822-0241 総務課(内線206)

<http://seishin.kanagawa-pho.jp/>

※平成25年3月よりホームページをリニューアルし、URLが変更されました。

※電話の掛け間違いが大変多くなっています。番号をよく確かめのうえ、お掛けください。

